

平成28年3月31日 OPMラボラトリーニュースリリース

『高い溶融率にて、世界最高クラスの造形スピードを実現』

株式会社 OPM ラボラトリー（以下 OPM ラボ）は、ソディック製金属3Dプリンタ「OPM250L（500W）」にて高い溶融率を保持したうえ、世界最高クラスの製作速度を可能とする「High Speed モード」を導出した。発信機最大出力 500W に対して 16%減 420W の低出力条件で実現しており製作できる造形物は 99.7%以上の溶融率が確保され、安定的な製作/装置の運用が可能となる。

（99.7%以上の溶融率での、Powder bed fusion type では世界最高クラスの製造能力「20～25 cc/1h」を達成している（当社調べ）

OPM ラボは今まで

1、意匠性を重要視するプラスチック製品などへ適用できる鏡面品質用の「Quality モード」

*（溶融率 99.99%=鏡面品質レベル/SPI-A2 以上を求める分野への適用）

2、量産現場で十分に活用でき、機械強度が保証できる「Standard モード」

*（溶融率 99.98～99.90%）

上記の2モードを導出し、2014年12月から実運用をしていますが、あらたに

3、コスト及び短納期重視の機械部品、金型などに対応するための「HighSpeed モード」

*（溶融率 99.7%以上）

を加えて、用途及び選択に合わせ、柔軟で最適なお提案をすることが可能になりました。

以上